

# 令和6年度 協働活動支援員等研修会

**講演** 「子どもの気になる行動の背景と具体的な対応」

**講師** おやこ心理相談室 室長  
公認心理師 臨床心理士 佐藤 文昭氏

**ワークショップ** 「明日から実践できるクラフト体験活動」

**講師** 東毛青少年自然の家 指導主事 小越 豪氏



令和6年度協働活動支援員等研修会が、11/16（土）に東毛青少年自然の家で、放課後子ども教室、放課後児童クラブ関係者、行政関係者等を対象に実施されました。

今回は、医療現場、教育現場でご活躍する「おやこ心理相談室」室長佐藤文昭先生をお迎えし、発達障害をもつ児童の特性について、ご講演していただきました。ご自身の体験談を交えながら、基礎知識から具体的な対応の仕方まで、幅広く教えていただきました。また、「子どもの関心に関心をもつこと」をポイントとして伝えていただきました。

ワークショップでは、身近な材料を使い、児童同士で作って遊べるプログラムを紹介しました。今年度は「ペタンク」というスポーツを行いました。道具を簡単に作れること、ルールを工夫できることを実際に体験してもらい、最後の練習試合では大変盛り上がりました。

- ・日頃の子どもの様子から、疑問を感じていたことがクリアになった気がしました。
- ・発達障害の児童の対応について学ぶことができました。うまくコミュニケーションが取れるように今後役立てたいです。
- ・今後、話を聞いたことを学童に戻った時に、対応していきたいと思います。ワークショップも参考にさせていただきます。
- ・自分が所属している学童にも発達障害の子もいるので、とても勉強になりました。ワークショップでは、初めてペタンクをさせていただきました。楽しかったです。学童でもやってみたいと思います。

参加者の声